

市民活動団体インタビュー

1. 調査概要

第6次豊明市総合計画の策定に際し、計画推進の一翼を担っていただいている子育て・福祉、多文化共生、産業・観光、環境、食・農など各分野の団体・グループを対象にインタビュー調査を実施しました。

調査からは、現在の活動状況及び今後の活動意向、活動上の課題などを把握し、ニーズに沿った計画づくりをするための貴重な資料とします。



調査期間	
5月13日～5月20日	
調査対象	
スポーツ推進委員会	ベトナム TOYOAKE
豊明市スポーツ協会	パステル
豊明エコキッズ	区長連合会
歴史民俗資料館調査研究会	藤田医科大学防災教育センター
農業委員会	桶狭間ガイドボランティア
認定 NPO 法人プラス・エデュケート	豊明団地自治会
JAあいち尾東豊明たすけあい けやきの会	豊明市手をつなぐ育成会
ママコアラ	傾聴ボランティア「とよあけ」
豊明市国際交流協会	NPO おたがいさまの家いっぱく
豊明市文化協会	豊明市商工会 青年部
豊明市肢体不自由児者父母兄弟の会 スマイルクラブ	主任児童委員
自主保育サークル まんまる	合計 23 団体

2. 調査結果のポイント

項目	主な意見(抜粋)			
① 活動で上手いって いること	・コロナ禍に合わせて地域分散型の活動に切り替え、サロンや憩いの家に出張して、ボッチャやノルディックウォークなどを指導した。	スポーツ推進委員会	・お母さんが孤立せず、週に1度メンバーに会うことで子育てのリフレッシュになっている。	自主保育サークル まんまる
	・協会として引継ぎが上手いき、大会が滞りなく運営できている。	豊明市スポーツ協会	・イベントに日本人が参加し、国籍・世代を超えた交流ができた。	ベトナム TOYOAKE
	・他団体に協力してもらいながら活動をしている。子どもたちは喜んでくれて、協力してくれた団体も楽しんでくれている。	豊明エコキッズ	・発達障害や、学校になじみにくく不登校になりがちな子どもの親のため、相談や親向けの進路説明会、おしゃべり会などを展開している。	パステル
	・豊明高校イラストレーション部とともに、オリジナル缶バッジを作成して来館者に配布し、新聞にも取り上げられた。	歴史民俗資料館調査研究会	・「ようこそセット」を用意し、声かけしやすくし、ごみの分別や各会の連絡先など、地区への転入者に情報提供と加入促進をする取組をしている。	区長連合会(落合区)
	・カラットに活動拠点を移した際、展示を一新して見やすくなったと来館者に好評だった。	歴史民俗資料館調査研究会	・民間企業からの協賛を集め、綱引き大会の実施予定、避難誘導訓練を兼ねて来訪してもらい、もち投げも行う。	区長連合会(西沓掛区)
	・平地で農地もまとまって残っており、自立したオペレーター(農業法人)に委託がしやすい。	農業委員会	・災害に備え、防災士の養成などの教育を行っている。地域と連携し、学生がAED講習の講師や子ども食堂で大量調理の練習を行っている。	藤田医科大学防災教育センター
	・豊明市に転入する外国人に、義務教育年齢の子どもがいた場合、市のコーディネーターが日本語教育の必要性を確認し、指導対象になった場合は私たちにつながるような仕組みができている。	プラス・エデュケート	・観光協会の依頼を受け、桶狭間古戦場伝説地周辺のガイドを行っており、来訪者から礼状をもらうなど、満足度の高いガイドができている。	桶狭間ガイドボランティア
	・ボランティアでの活動が生きがいになっている会員もいる。	けやきの会	・役員としての仕事が楽しく、長く続けてくれる人が多い。	豊明団地自治会
	・ママたちの学びのサークルで、2年前に拠点をカラットに移した。集まりやすくなり、イベントや講座への参加率も良い。	ママコアラ	・強度行動障害等をもつ子と親のための活動の一環で、スポーツイベントの機会がない 20～30 歳代が体を動かす機会を提供している。	豊明市手をつなぐ育成会
	・市職員によるごみの出し方を学ぶ機会を外国人向けに提供した。様々なイベントで、楽しみながら日本のことを知ることができればいい。	豊明市国際交流協会	・傾聴ボランティアもグリーフケアカフェもニーズが高い。参加者も多く、会話をすることや心のケアの重要性を再認識している。	傾聴ボランティア「とよあけ」
	・文化会館の予約が取れないくらい、多くの団体で活動は活況である。	豊明市文化協会	・新栄町の空き家を改装し、スタッフ常駐型サロンを開設し、お茶会や講座が繁盛している。	NPO おたがいさまの家 いっぱく
	・福祉サービスやリハビリ、学校のことなど情報交換や、上の年代から下に情報を伝えることで、下の世代の選択肢を広げることができた。	豊明市肢体不自由児者父母兄弟の会 スマイルクラブ	・豊明夏まつりに参加している実績から、地域の祭りにも参加しやすい。	豊明市商工会 青年部
	・子ども同士もコロナ禍で触れ合う機会が少なかったが、活動を通して交流することで、発達に良い影響が出ていると感じる。	自主保育サークル まんまる	・気になる事象や問題があった場合には、市役所かスクールソーシャルワーカーに情報を共有し、ほとんどのケースで必要な支援先につながる。	主任児童委員

項目	主な意見(抜粋)			
② 活動での課題	・ボランティアではないため公的に活動をしなければならないが、活動内容があまり知られていない。	スポーツ推進委員会	・子どもの年齢が上がるにつれ、ケアの方法や関心も変化するため、活動から離れてしまう方がいる。	パステル
	・現役世代は働いているため、なかなか活動に参加できない。	スポーツ推進委員会	・家庭内で抱えこんでしまいがちになることから、親の心のケアのための受け皿を整えることが重要である。	パステル
	・活動場所の確保が難しい。各団体が活動していく上で体育館やグラウンドがなかなか予約できない。駐車場の確保も苦労している。	豊明市スポーツ協会	・町内会への加入率は低下しており、未入会者、脱会者のなかには役員の仕事が嫌、精神的・時間的苦痛が大きいといった理由もある。	区長連合会(落合区)
	・親子参加の基本を崩したくないが、共働きの親も増え、親のスケジュールの問題で参加のハードルが高くなっている。	豊明エコキッズ	・区の大小の差が大きく、活動イメージがわきづらい。また、役員から提案があれば変わるが、従来通りの思考・活動が多い。	区長連合会
	・数か月に1回のペースでワークショップやミニ講座を開催しているものの、参加者が少ない。情報発信力が弱いと感じている。	歴史民俗資料館調査研究会	・地域の自主防災組織や災害ボランティアネットワークの高齢化が進んでいる。	藤田医科大学防災教育センター
	・高齢化による後継者不足。	農業委員会	・ガイドの高齢化に伴い、ガイドの育成研修が必要である。	桶狭間ガイドボランティア
	・売却できず、投資しても米が売れないため、農地が負の遺産となってしまう。	農業委員会	・高齢化。若い人は働いていて忙しく、役員をやりたがらないため加入しない。そもそも近所づきあいを避けて団地に住んでいる方もいる。	豊明団地自治会
	・義務教育を終えた 15 歳以上の子どもが来日した時の支援の受け皿がないことが課題。	プラス・エデュケート	・団地の住民の入れ替わりが激しく、近所づきあいも希薄なため、お互いの顔を知らない。	豊明団地自治会
	・78%が 75 歳以上と、会員の高齢化が問題になっている。若い人が加入しないと継続できない。	けやきの会	・外国人住民(主にベトナム人)とのルールやマナーに関するトラブルや苦情が多い。	豊明団地自治会
	・SNSだけでのやり取りが増えてきており、会員同士で面と向かってコミュニケーションを取る機会が少なくなっている。	ママコアラ	・時代とともに情報交換ツールとしての会のニーズは減少し、新規の参加者、特に地域の方の新規参加が少ない。	豊明市手をつなぐ育成会
	・日本語教室以外で、外国人と日常的につながる場は少なく、町内会・自治会に入っているという話もあり聞かない。	豊明市国際交流協会	・ボランティアの高齢化が進み、ボランティア自身やその家族の健康や介護の問題もあり、活動が難しくなっている。	傾聴ボランティア「とよあけ」
	・高齢化が進み、各部会で減少傾向にある。指導者の後継者や新規の会員がいない。	豊明市文化協会	・元気で活動的な高齢者の利用が固定化しつつある。元気がない高齢者にも出てきてもらいたいが1人で出て来られない方は拾いきれない。	NPO おたがいさまの家 いっぱく
	・外遊びが中心になっているため、活動が天候に左右される。	自主保育サークル まんまる	・会員は 24 人いるが、実働として動いているのは 10 人程度。	豊明市商工会 青年部
	・活動費用がないが、有料のイベントに参加してくれる人は少ない。	ベトナム TOYOAKE	・子どもが親の世話をしているヤングケアラーがいるという話も聞く。	主任児童委員
③ 今後の活動意向、協働・共創について	・人材確保のシステムや手段をつくりたい。メンバーの循環のためにも、育成の仕組みをつくり、ベテラン層も抜けやすいようにしたい。	スポーツ推進委員会	・子どもたちのための活動を中心に行いたい。また、日本人との交流イベントや日本の生活ルール・マナーについて学ぶ機会を提供したい。	ベトナム TOYOAKE
	・第1次、第2次スポーツ推進計画との関わりが薄かった。計画と連動した活動ができなかった。	スポーツ推進委員会 豊明市スポーツ協会	・他団体との横のつながりができるスペシャルおしゃべり会を継続したい。	パステル
	・個人の教室なども含め、市内の大会やイベントを一元化し、市民が気軽に参加できるよう、スポーツカレンダーをつくりたい。	豊明市スポーツ協会	・老人クラブ、子ども会ともに加入者が減少しており、子ども会については区レベルでの活動に移行するように調整が必要である。	区長連合会
	・豊明の魅力を再発見し、自然について知ってもらい、環境について考えてもらえるようになりたい。	豊明エコキッズ	・自主防災、災害ボランティアの若返りのために、小学生から大学生までの若い世代などが防災リーダーを担うよう働きかけをしたい。	藤田医科大学防災教育センター
	・市内に着任した教員の研修にカラット見学を組み込んでもらい、歴史民俗資料室の存在を知ってもらいたい。	歴史民俗資料館調査研究会	・市役所にトイレカーを導入すれば、防災に対する周知や啓発、災害時だけでなくイベントや地域への貸し出しとしても活用できる。	藤田医科大学防災教育センター
	・産直で野菜が売れるというイメージができ、若い方(60代)が退職後のお小遣い稼ぎ感覚で畑作を始められるようになったら良い。	農業委員会	・歴史認識について市職員への講義の機会がほしい。	桶狭間ガイドボランティア
	・地元で就職したいが高卒・大卒でないと就職できないと考えている人と、人手が足りていない中小企業のマッチングができれば良い。	プラス・エデュケート	・自治会の新規加入者を増やすためにも、働き方の変化をふまえ、役員を仕事と両立できるようにするか、制度自体をなくしたい。	豊明団地自治会
	・活動する協力会員と、会費で支援する賛助会員があるが、けやきの会のファンを増やし、賛助会員も増やしていきたい。	けやきの会	・藤田医科大学と協力し、子どもの見守りのため居場所をつくる。	豊明団地自治会
	・ママたちが講師となり、持っている知恵や特技を教えられるよう育成していきたい。	ママコアラ	・育成会が行政に提言するためにも、新規加入者を増やしたい。団体同士のつなぎやアテンドを市にも支援してほしい。	豊明市手をつなぐ育成会
	・ボランティアのため、できる範囲のことしかできないが、市の「多文化共生推進計画」に協力し、連携していきたい。	豊明市国際交流協会	・心のケアの時代を見据えた活動を推進したい。色々な団体と話して共通点やつながりを見つけたい。活動が広まり、参加者が増えてほしい。	傾聴ボランティア「とよあけ」
	・樺庵について、昔の伝統や文化を残しつつも、気軽に利用できるカフェのような雰囲気のある場所にしたい。	豊明市文化協会	・南部地域にもう1つサロンをつくりたい。南部は老人会も減少しているし、なかなか遠出しづらい地域であるためニーズはある。	NPO おたがいさまの家 いっぱく
	・ひまわりなどの市民講座と連携したい。	豊明市文化協会	・婚活・合コンイベントを開催し、それを通じてできたカップルが豊明市に住んでももらえたら嬉しい。	豊明市商工会 青年部
	・お母さんが子どもを預けて外出できるように、一時預かりの活動までできたら良いと考えている。	自主保育サークル まんまる	・地区の民生委員から情報をもって、地域の事情がわかることもあるため、情報交換を継続的に行っていきたい。	主任児童委員

項目	主な意見(抜粋)			
④ 豊明市の魅力や特色、課題	・部活動の地域移行について、学校教育を含めた人材育成とスポーツ指導を推進委員に求めるのは難しい。	スポーツ推進委員会	・コンパクトなまちで便利。ベトナム人も集まりやすい。高いビルもなく、駅や病院などすべてが近い。	ベトナム TOYOAKE
	・部活動の地域移行に関して、柔道とソフトテニスは一時的に進めているが、近隣市町も含め、みんな混乱が起きている。	豊明市スポーツ協会	・子どもの権利条例を制定してほしい。「制定した」という事実が、子どもにとって思っていることを発言できるきっかけになる。	パステル
	・ごみを拾ったり、川をきれいにしたり、自分たちも環境保全が「できる」ことを伝えたい。自主的にできるようになってほしい。	豊明エコキッズ	・学校では満足する相談体制がなく進路などの情報も得られない。学校内にフリースクールや不登校の子のための居場所を拡充してほしい。	パステル
	・東海道をはじめとした主要な街道が通っていることもあり、まちが東西につながっており、土地を通過する人々に対して寛容さをもっている。	歴史民俗資料館調査研究会	・コロナ禍が明け、会食の場や仕出しがなくなり、大勢で集まれる場所が減っている。	区長連合会
	・農地が多いため、夏は田んぼの影響で気温が低くなり、田んぼダムとして水害対策にも貢献するなど、環境面からみても魅力的である。	農業委員会	・市内避難所は収容人数が少なく、在宅避難が中心となるため、各家庭で1週間分のトイレと食料準備、耐震補強や家具固定を徹底すべき。	藤田医科大学防災教育センター
	・市職員は、LGBTQ への理解もあり、外国人を単なる労働力ではなく隣人として捉えてくれている、大事にしてくれているという印象がある。	プラス・エデュケート	・他市に比べ、まちに観光客向けのルート案内や史跡の説明等の看板、パネルが少ない。	桶狭間ガイドボランティア
	・これから人口減になるが、どの年代にスポットを当てていくか。外国人のみの比率を出すと、また違った視点でみることができると思う。	プラス・エデュケート	・外国人にとっては住みやすい。日本語教室や多言語表記など外国人への配慮が手厚い。	豊明団地自治会
	・高齢者が1人で暮らしていると買い物、配達など困りごともある。	けやきの会	・ひまわりバスは利用者が増えていて、成功していると感じる。	豊明団地自治会
	・けやきの会さんを講師として招き、おこしものの料理教室を開催するなど、世代間交流をできるのも良い。	ママコアラ	・外国人と共に暮らす日本人に対する配慮がない。転入時にルールやマナーの講習を行い、相談窓口などもきちんと設けてほしい。	豊明団地自治会
	・子育てしながら町内会長の任を担うことは難しい。デジタル化なども進めてほしい。	ママコアラ	・障がい者基幹相談支援センターが、手帳を持っているがサービスを受けていない家庭への訪問を行っている。つながりができてありがたい。	豊明市手をつなぐ育成会
	・外国人の目立った排斥がない。外国人が嫌な思いをしていないように感じる。団地に対し、そうならないように話をしてきた背景がある。	豊明市国際交流協会	・グループホームで1人生活している人などは生活資金が限られているため、安価な交通サービスや支援を充実させてほしい。	豊明市手をつなぐ育成会
	・メインストリートがない。豊明のお土産や名産品はどこで買えるのかと聞かれることもあるが、そういったものがない。	豊明市国際交流協会	・カラットが魅力的。イベントも多く、色々な世代が交流できる。ボランティア団体も利用しやすい。	傾聴ボランティア「とよあけ」
	・生涯学習と文化が線引きされてしまっている。	豊明市文化協会	・南部地域は不便。福祉会館や体育館などの施設は市役所周辺の北部に多く、行きづらい。バスも少ないため出かけるのが大変である。	NPO おたがいさまの家 いっぱく
	・市としての一体感がない。以前は豊明まつりの実行委員会などで集まり、連携ができていたが、今はその機会もない。	豊明市文化協会	・アクセスも良く、住みやすいと思っている。福祉の視点でも不満は感じていない。	豊明市商工会 青年部
	・災害時に医療ケアができるかが課題。非常時は誰もが電源を必要としているが、医療ケアが必要な人は電源が生死にかかわる問題になる。	豊明市肢体不自由児者父母兄弟の会 スマイルクラブ	・桶狭間など歴史のまちではあるが、これといった特産品などはなく、まつりなどに注目しがちになっている。	豊明市商工会 青年部
	・最終的には「親なき後」を考えなければいけない。肢体不自由については、入所施設はあるがグループホームが市内にない。一人では暮らしていけないため、頼れるところがほしい。	豊明市肢体不自由児者父母兄弟の会 スマイルクラブ	・学校の中に児童館(児童クラブ)があると良いが、夏休みなど時期によっては利用者が多すぎるあまりパンクしている。長期休み等に児童が遊ぶスペースが必要。	主任児童委員
	・沓掛にひまわりバスの路線がない。車の運転ができなくなったときや、子どもが学生になって通学や外出するときに困る。	自主保育サークル まんまる	・子連れ家族が住める場所がなく、子どもの転出者が増えている地域もあれば、若い人が多い地域もある。	主任児童委員
⑤ 将来の豊明の ありたい姿	・スポーツができる集いの場や運動公園がほしい。	スポーツ推進委員会	・子どもが豊明市に残ってくれるようなまち、市内で子育てをしたいと思ってもらえるようにしてほしい。	パステル
	・笑顔の溢れる、住んでよかったなと思えるまちであってほしい。それを、スポーツの視点から支えていきたい。	豊明市スポーツ協会	・マイノリティが住みやすいまちこそが、取りこぼしのないまち	パステル
	・豊明の自然をアピールしたい。自然に触れたいときは、他市ではなく豊明市内に出かけてほしい。	豊明エコキッズ	・災害が少ない地理的メリットを生かし、安心して住めるまちにしたい。災害に強いまちづくりをもっとしてほしい。	藤田医科大学防災教育センター
	・郷土愛を育てたい。誇りがもてるまちづくり。	歴史民俗資料館調査研究会	・桶狭間古戦場があるまちとして発信、PRし、有効活用してもらいたい。	桶狭間ガイドボランティア
	・緑を大切にしつつ、人が集まれるような企業や飲食店が増え、にぎやかなまちになってほしい。	農業委員会	・豊明市の良さを市外にもっとPRし、若い世代を呼び込みたい。「医療のまち」など、良さを生かしたキャッチフレーズなどがあると良い。	豊明団地自治会
	・第一次産業に従事したい外国人を人材として捉えられると良い。	プラス・エデュケート	・グループホームや施設、支援員を増やしてほしい。	豊明市手をつなぐ育成会
	・行政だけで全てのことができるわけではないなか、市民を巻き込んでよくやっていると思う。	けやきの会	・みんなが笑顔で、ひきこもらないように、居場所や多世代交流が増えてほしい。	傾聴ボランティア「とよあけ」
	・今のまま高齢者に優しい状態を継続してほしいと思う。	ママコアラ	・みんなが誇りや愛情をもっと持てるようになると良いと思う。	豊明市商工会 青年部
	・SNSのDMなど気軽なものを活用すれば、もっと若い人からの意見を集めることができると思う。	自主保育サークル まんまる	・豊明市内で素敵な活動をしている人はたくさんいるはずであり、そこに宣伝や集客をしやすい環境を整えていければ、もっと盛り上がる。	豊明市商工会 青年部
	・緑の多いまちにしたい。道路の脇に大きな木があると良い。	ベトナム TOYOAKE	・子育て世代も高齢者にも住みやすいまちになってほしい。	主任児童委員